

オスプレイ横田配備撤回を！

米軍横田基地にCV22オスプレイを配備するとの報道に関連し、日本共産党の宮本徹、池内さおり両衆院議員、吉良よし子参院議員と周辺住民らは11日、防衛省と外務省に抗議し、配備の撤回を求めました。共産党の都議と日本共産党青梅市議団含む周辺自治体の議員、住民団体から30人余が参加しました。

外務省、防衛省の担当者は「現時点で米軍から通報が来ていないので、コメントは差し控える」と繰り返し、具体的な説明はしませんでした。一方で米国の正式な通報を受け、周辺自治体に説明し説得するとする立場を明確にしました。

同日（11日）午前、日本共産党青梅市議団は青梅市に横田基地へのオスプレイ配備反対の取り組みを求め要望書を提出しました。



11日、衆院第2議員会館

日本共産党青梅市議団報告

2015年5月

日本共産党青梅市議団の連絡先
藤野ひろえ TEL76-1670/FAX76-2024

田中みずほ TEL/FAX27-2567

みねざき拓実 TEL/FAX23-6916

「横田基地へのオスプレイ配備に反対する取り組みを求める要望書」

（青梅市に提出した市議団の要望書一部抜粋）

横田基地へのオスプレイ配備をめぐる状況が緊迫しています。横田基地へのオスプレイ配備が強行されれば、米空軍の中でも事故率が高い同機を、世界有数の人口密集地である首都圏の上空で運用することになります。住民の生命・財産が脅かされることとなり絶対に許されません。

日本共産党青梅市議団は、横田基地へのオスプレイ配備に反対する、青梅市の積極的な、市民ぐるみの取り組みを求めてここに要望します。

5月10日付赤旗報道

米政府は、2017年から空軍の垂直離着陸機CV22オスプレイの米軍横田基地への配備に着手する方針を決め、日本政府に伝えました。17年後半に3機、年内にさらに7機を同基地に配備し、10基程度を運用する方針です。

オスプレイ一機が横田基地に飛来

5月8日昼頃、オスプレイ一機が岩国飛行場を離陸し、その後、横田基地に着陸したとの情報が青梅市のホームページに掲載されました。

12日、日本共産党青梅市議団は防衛省横田防衛事務所に抗議し、オスプレイの横田基地飛来を許さず配備撤回を求める申し入れ書を提出しました。